

1974

50th

ANNIVERSARY

ハートランドしぎさん看護専門学校
創立 50周年記念誌



2023



表紙写真 (本校と学生寮)

目次

ごあいさつ		旧校舎	6
学校長 竹 林 由 浩	1	現校舎	7
教育理念	1	卒業生より	
校歌	2	1期生 大 名 美記子	8
エンブレム	2	4期生 高 杉 千代子	8
校旗	2	10期生 小 田 由美子	8
お祝いの言葉		13期生 山 根 ひとみ	9
追手門学院大学心理学部長 教授		24期生 白 野 幸 恵	9
奈良教育大学名誉教授 博士(文学)		29期生 大 野 智 史	9
本校講師 豊 田 弘 司	3	30期生 濱 田 賢 吾	10
ナーシングスチューデントクラス		41期生 伊 藤 環	10
本校講師 阪 上 由 美	3	47期生 深 野 綾 音	10
前教務主任 浅 野 史 子	3	現在の学校の様子	11
50周年に寄せて		今日から明日へ	
前貴風会会長 岩 木 保 子	4	看護師3年課程 教育内容の変遷	12
副学校長 高 塚 由香里	4	Diploma Policy	13
本校のあゆみ		編集後記	13
歴代学校長	5		
沿革	5		

ごあいさつ



私たちの学校は、創立50周年を迎えました。この50年間、数多くの生徒たちや教職員、地域の皆様の支えや協力のもと様々な困難や課題を乗り越えてきました。

本校の歴史を振り返りますと開校当初はまだまだ建物も設備も整備されておらず、教員も不足していた時代がありました。しかし、地域の皆様からの暖かいご支援や教員の献身的な尽力により少しずつ学校の環境は改善され今日のような素晴らしい学校になりました。

また、この50年間で多くの生徒たちが卒業し社会に羽ばたいていきました。その中には、多様な分野で活躍する方々がたくさんいます。これからも卒業生の皆さんが身に付けた知識や技術が社会に役立ち、そして未来を拓いていくことを願っています。

今後も私たちは教育の質を高め地域との連携を深め生徒たちが豊かな人間性を育み、多様な社会の課題に取り組める教育を提供し続けることを目指していきます。

最後に、創立50周年を迎えるにあたり多くの皆様に心より感謝を申し上げます。今後も私たちと共に地域の未来を担う生徒たちの教育にご支援いただけますようご協力をお願い申し上げます。

学校長 竹 林 由 浩

教育理念

【愛・智・誠】

生命の尊重と人間愛を基盤とした豊かな人間性と叡智を養い、看護の対象を全人的に見つめ、心に寄り添う事ができる誠実な看護職者を育成する。

校

歌

作詞 加藤 道智江
作曲 田中 道子

一、大和平野の 清らかさ

信貴の山のふところに

白衣を夢見て 学びたる

ああ 輝けり 我母校

二、信貴の山の山桜

悩める心 なごませる

看護の使命 胸に秘め

ああ 豊かなれ 我母校

三、歴史香るいかるがに

病みたる人の影となり

支えとなりて 世のために

ああ ほこりあれ 我母校



平成19年4月～令和2年3月



令和2年4月～現在に至る



お祝いの言葉



追手門学院大学心理学部長 教授
奈良教育大学名誉教授 博士（文学）
本校講師 豊田 弘司

貴学の創立50周年、誠にありがとうございます。私が貴学の非常勤講師として心理学を担当したのは1980年代であり、まだ、20歳代でした。土曜日の午前中に講義があり、学生さんとの年齢が近いこともあって、とても楽しく講義をしていたのを思い出します。縁あって2014年から教育学の授業と、その後、心の科学の授業も担当しています。私の中では貴学の学生さんは優しい学生であり、これまでの卒業生の皆様からいただいたメッセージが私の教育研究活動を支えてくれる大きな力になっています。ここに改めて感謝の意を表しますとともに、皆様のご健勝をお祈りします。そして、貴学が看護教育において今後も大きく貢献されることを祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。



ナーシングスチューデントクラス
本校講師 阪上 由美

ハートランドしぎさん看護専門学校卒業生の皆様、在校生の皆様、ならびに教職員の皆様方、学校創立50周年誠にありがとうございます。解剖生理学の講義と国家試験対策を担当させて頂いております阪上由美と申します。

唐突ですが、私はしぎさんの学生さんが大好きです。校内に響き渡る元気な挨拶、謙虚で真摯でひたむきな姿を見ていると本当に嬉しくなります。可愛くて可愛くて「絶対に看護師にしてあげたい」という気持ちになり、3時間かけて足を運んでおります。

この礎を築かれたのは1期生の方々です。そして後に続いた皆様がその校風をしっかりと引き継いでおられます。ご安心下さい。歴史は続いています。これからも私は看護師を志す皆様に支援し続けていきたいと強く思っております。



前教務主任 浅野 史子

創立50周年の記念誌発行、おめでとうございます。

今思えば、昭和49年の開校から昭和・平成の2時代を終え、令和5年の現在まで、社会情勢にも多様な変化がありました。必要不可欠の課題もあり、専門教育における内容もより高度な知識・技術を求められ、学内はもとより臨床現場での技術教育のあり方は大変な状況だったと思います。

令和に入り、新型コロナの流行によりご苦勞も多くあったことでしょう。しかし、教職員が良きチームワークでのり越え、今日を迎えておられることに感謝申し上げます。

初代学校長のお言葉『気くばり目くばり思いやり』を心して、今後より一層社会に貢献できる人材育成にご尽力くださいますようお願い申し上げます。今後の学校の継続とますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

50周年に寄せて



前貴風会会長 岩木保子

ハートランドしぎさん看護専門学校創立50周年を心からお祝い申し上げます。早いもので半世紀を迎えたのですね。

第1期生は昭和49年信貴山高等看護学校16名、准看護学院第11期生と共に入学。昭和52年信貴山看護専門学校13名、准看護最後の第12期生と共に卒業しました。在学中は、充実した学生生活を送ることができ、国家試験に全員合格できたことは一つ伝統を作ったと誇りに思います。学生生活で得た仲間との絆は今も続いており人生の宝物です。

卒後8年目に教務に就職し、創立10年目に同窓会設立に向け教務にいる卒業生を中心に準備し、同窓会設立に至りました。同窓会（貴風会）会長として沖縄に帰郷する迄の約27年間就任しましたが、次期会長不在のまま貴風会は休会状態にあり運営の一部を学校に委託しています。早期の貴風会活動復活を願っています。

現在は、精神・知的障がい者の共同生活援助・居宅サービス事業を営み、精神・知的障がい者の共同生活援助・委託事業をしています。看護師の資格を強みに活かし障がい者が地域で安心して生活できるように日々精進・奮闘しています。

今回、50周年祝賀会の開催を待ち望んでいましたが、新型コロナの影響で記念式典を開催できないことを知り残念に思います。しかし、記念誌の発行がなされるということで寄稿の依頼をいただいたことに感謝致します。今後も看護学校の益々の発展を心より祈念致します。



副学校長 高塚由香里

本校が創立50周年を迎え、記念誌を発刊できましたことを大変嬉しく思います。発刊にあたりましてご寄稿くださいました皆様の温かいご協力で厚くお礼申し上げます。

50年という歳月を積み重ねて今日を迎えることができましたのは、初代学校長の竹林由利彦先生をはじめ、歴任教職員の皆様方のご努力の賜物であります。また、現在1966名もの卒業生が各方面でご活躍され、本校の社会的評価を上げられたことにも深く感謝申し上げます。

本校の前身は准看護学院でしたが、時代の要請に応じて昭和49年に3年課程の看護専門学校を開設し第1期生が入学されました。本年度第50期生を迎え入れ、歴史ある本校の伝統と校風を受け継ぎ教職員ともども先輩方に恥じないようにと努力しております。

学校は平成10年に新築移転し、校名も平成18年に改名しておりますが、『豊かな人間性を備え、こころで学び愛に触れる看護』を継承していく教育方針に変わりはありません。常に何事にも誠実に対応し、人々の喜びや悲しみを自分のことのように受け止め、人々の心に寄り添い心を支える看護実践者の育成を目指しています。

この記念誌の発刊が、本校の歩みを振り返り、卒業生の皆様にとって母校を懐かしみ、足を運んでいただけるきっかけとなれば幸いです。

今後とも、本校の看護教育の充実と発展のため、関係各位皆様方のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

本校のあゆみ

【歴代学校長】



竹 林 由利彦
第1代 昭和49年4月～平成13年3月



竹 林 和 彦
第2代 平成13年4月～平成22年3月



竹 林 千 佳
第3代 平成22年4月～平成30年3月



竹 林 由 浩
第4代 平成30年4月～現在に至る

【沿革】

- 1934年 12月 信貴山病院創立
- 1956年 6月 信貴山病院分院上野病院開院
- 1964年 4月 信貴山病院附属准看護学院開校
- 1974年 4月 信貴山高等看護学校開校
- 1976年 4月 信貴山看護専門学校へ名称変更
- 1998年 5月 信貴山看護専門学校を全面新築移転（本院併設）
- 2006年 7月 ハートランドしぎさん看護専門学校へ名称変更

【旧校舎】

図書室



学生寮



化学実験室



視聴覚教室



校舎



体育館



講堂



標本室



看護実習室



【現校舎】

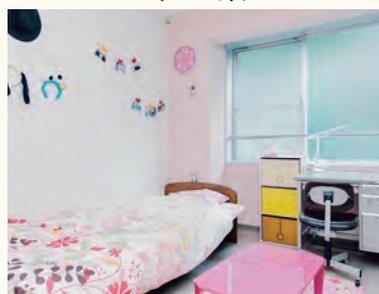
校舎



図書室



学生寮



普通教室



体育館



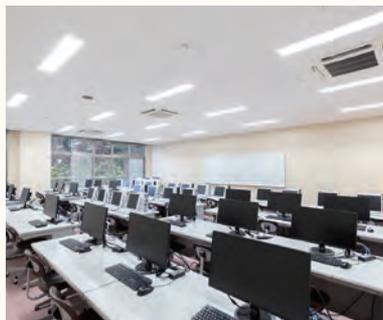
在宅看護実習室



看護実習室



情報処理室



視聴覚教室



卒業生より



1期生 大名 美記子 (旧姓 下地)

ハートランドしぎさん看護専門学校の創立50周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。卒業生として感慨深いものがあります。50年前をさかのぼること、入学当初は准看護師養成から看護専門学校への移行期で、その第1期生として、常に注目されてきました。事あるごとに、第1期生の「国家試験合格100%」達成がなければ、この先、永遠に「100%達成」は存在しない。使命感をもって、等とよく聞かされたものです。その重責を背に、仲間と結束し、先生方の手厚いサポートもあり、全員でその使命を果たすことができました。現在では校風として引き継がれ、本校教育が高く評価されていることを誇りに思います。

卒業後は2年間を附属病院でお世話になり、その後は県立の3病院で実践を積み、奈良医大を最後にこの3月で臨床を離れております。運とご縁にも恵まれ、平成28年春の叙勲において瑞宝単光章を賜り、校長先生を始め、卒業後も温かく見守り応援して下さった先生方に感謝いたします。

目まぐるしく変化する社会の中で医療・看護教育も格段に進歩をしています。本校が教育理念のもと、ますます発展されますことを心から祈念いたします。

4期生 高杉 千代子 (旧姓 豊里)

創立50周年おめでとうございます。

卒業後、看護師として働いた後、助産師の道へ。開業助産師として新しい命の誕生に携わりながら、今年4月より生駒市の市議会議員として、新たな道を歩み始めました。

面接の時「医は仁術である」と前会長の竹林由利彦先生が仰った言葉を全く意味が解らないまま、飛び込んだ世界でした。しかし、看護の世界を極めるにつれ「言葉の重みと尊さ」を感じます。私たち、医療職は、患者様に寄り添い、その方の人生が意義深いものであるように支えているものだと思っています。周産期は「ヒトとしての土台作り」ですが、人間関係が多様化、複雑化した、今の社会こそ、心のケアが必要であり精神科看護の重要性が求められていると痛感しております。

最後になりましたが、これからもハートランドしぎさん看護専門学校の繁栄を祈念いたします。



10期生 小田 由美子 (旧姓 生地)

1982年秋、ケーブルカーの終点駅に母と降り立った。そこにはもう一人、青森から来た少女もいた。看護学校が何処にあるのか分からず途方に暮れていると、一人の男性が通り掛り場所を教えてくれた。ここから私の看護への道が始まった。坂道を下りながら、少女は青森から一人^{かて}で来ているのに私は母といふ。少し気恥ずかしかった。入学試験は、「糧」という字が読めず、心理検査は、「鬼」などを連想し、面接で校長と教務主任から「偏食」を指摘され、不合格を確信した。落ち込む私とは対照的に母の喜ぶ顔が脳裏に残った。

青森の少女とは入寮時に再会した。入学に喜び、家族との別れに悲しみ、臥薪嘗胆、複雑に感情を揺るがす3年は、瞬く間に過ぎた。40年経った今でも、鮮明に思い出せる学校生活、そして友。同級生や同窓生の絆の強い看護学校に感謝しかない。

13期生 山根ひとみ (旧姓 秦)

この度は、創立50周年を迎えられたこと心よりお祝い申し上げます。

私は、現在、三重県の社会医療法人畿内会岡波看護専門学校で副学校長をしております。上野病院では、講義や精神看護学実習でお世話になっております。ハートランドしぎさん看護専門学校の先生方とは、本校設置母体での実習や学生時代に習った科学的看護論について一緒に学ぶ機会もあり、ありがたいご縁が続いており、寮生活やブルージャージなど学生時代の話ができ、嬉しく思います。

この場をお借りして、学生時代にご教授いただいた教職員の皆様をはじめ講師の先生方や同級生や先輩・後輩の皆様へ深く感謝申し上げます。さらに、貴校の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



24期生 白野幸恵 (旧姓 澤田)

50周年おめでとうございます。

私が入学して26年も経ってしまったのかと驚きです。

思い起こせば、札幌を離れて初めての関西弁の怖さと寮生活。寮生活ではお部屋の先輩はとても優しく楽しく過ごすことができていましたが、中には厳しい先輩もいました。寮生活は、門限もあつたりと大変な生活でしたが、気づくこともたくさんあり今では良い思い出ばかりです。卒業後はハートランドに就職しその後は、実家に帰ると思っていたのですが奈良に住み着いてしまい、なんと現在もハートランドグループに所属しています。今は病院を出て訪問看護ステーションに所属しており、病棟でも学生指導をしていましたが、現在も可愛い後輩たちと関わりを持つことができ楽しく実習指導をさせて頂いています。



29期生 大野智史

この度は創立50周年、誠におめでとうございます。こうして半世紀を迎えられたのも先生方、諸先輩方のご尽力の賜物だと感じております。私は22年前に入学し、当時は全寮制で先輩方からは、色々な事を教えて頂きました。先生方からは飴と鞭を上手に使い分けられ、今までしたことのない勉強を一から教えて頂きました。しかし、国家試験に失敗し、担当の先生を号泣させてしまいました。まさに鬼の目にも涙だなど心底猛省し、翌年には合格する事ができました。そんな私も現在、上野病院で師長となり、患者様の色々な声を聴くことを大切にしながら、後輩育成に励んでいます。今の自分の看護の原点・素敵な思い出の詰まった学校の、次は100周年のお知らせを頂けるよう益々のご発展を祈っております。





30期生 濱田 賢吾

看護の志を決め、ハートランドしぎさん看護専門学校に入学を致しました。国家試験対策などの学習面が精到している事、学生寮があり生活支援が充実しており、看護師を目指す環境に専念できる事が決め手となりました。その後は、ハートランドしぎさんに勤務し、精神科看護を中心に学びを得ました。過程の中で救急や集中治療への関心が高まり、転職後はERを経てICUで働いています。また、キャリア形成の中で専門性をより深めたいと考え、特定看護師として活動しています。そして災害時のDMAT活動にも従事しています。

看護のあらゆる事に挑戦する大切さ、並びに看護の礎を築く事ができ、ハートランドしぎさん看護専門学校へ感謝すると共に、益々の今後の発展を心より応援しています。



41期生 伊藤 環

私は38歳で看護学校に入学しました。在学中の3年間は、年の離れた同級生達との貴重な学びの経験でした。一番好きだった授業は認識論です。患者様の立場に自分を重ね感情や考えを洞察するための頭の働かせ方を学びました。認識論は看護をするうえで常に意識しています。私が勤務するデイケアに通うTさんは70代女性です。体調は良いのに時折入浴を拒否します。スタッフの人数が少ない日に拒否があることから理由を尋ねると、少しでもスタッフの負担を減らしたかったとのこと。Tさんなりの考えを知り申し訳ない気持ちになりました。患者様の観点から患者様をみていくことの重要性を日々実感します。これからも学び舎で得た看護の礎を活かしながら、患者様に寄り添う看護師でありたいと思います。



47期生 深野 綾音

患者様の笑顔を見て、もっと質の良い看護を提供するぞ、と心に誓った日。相手の気持ちを感じとり、大切に考える方を3年間学んだからこそ、様々な考え方が受け入れられるようになり、私の感性が磨かれたように感じます。先生方が、愛をもって学生を育ててくださる環境で育ったからこそ、その『愛』を次は私が、患者様や関わる全ての人に注ぎたいです。母校で学んだことを心に刻み、置かれた場所で美しく、卒業生であることに胸を張って看護師人生を歩みたいと思います。

いつ帰っても温かく迎えてくれる実家のような母校が大好きです。喜怒哀楽全ての感情を共有できる仲間と出会い、たくさんの愛情を注いでいただいた母校が創立50周年を迎えられたことを、とても嬉しく思います。

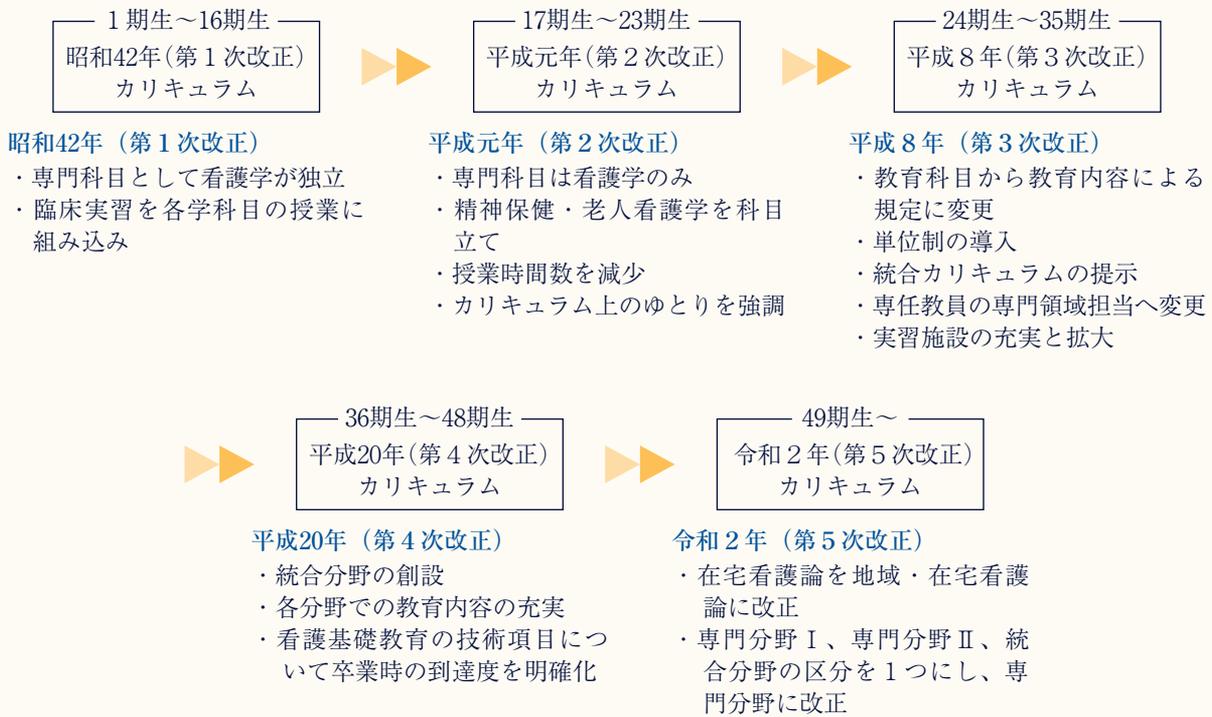
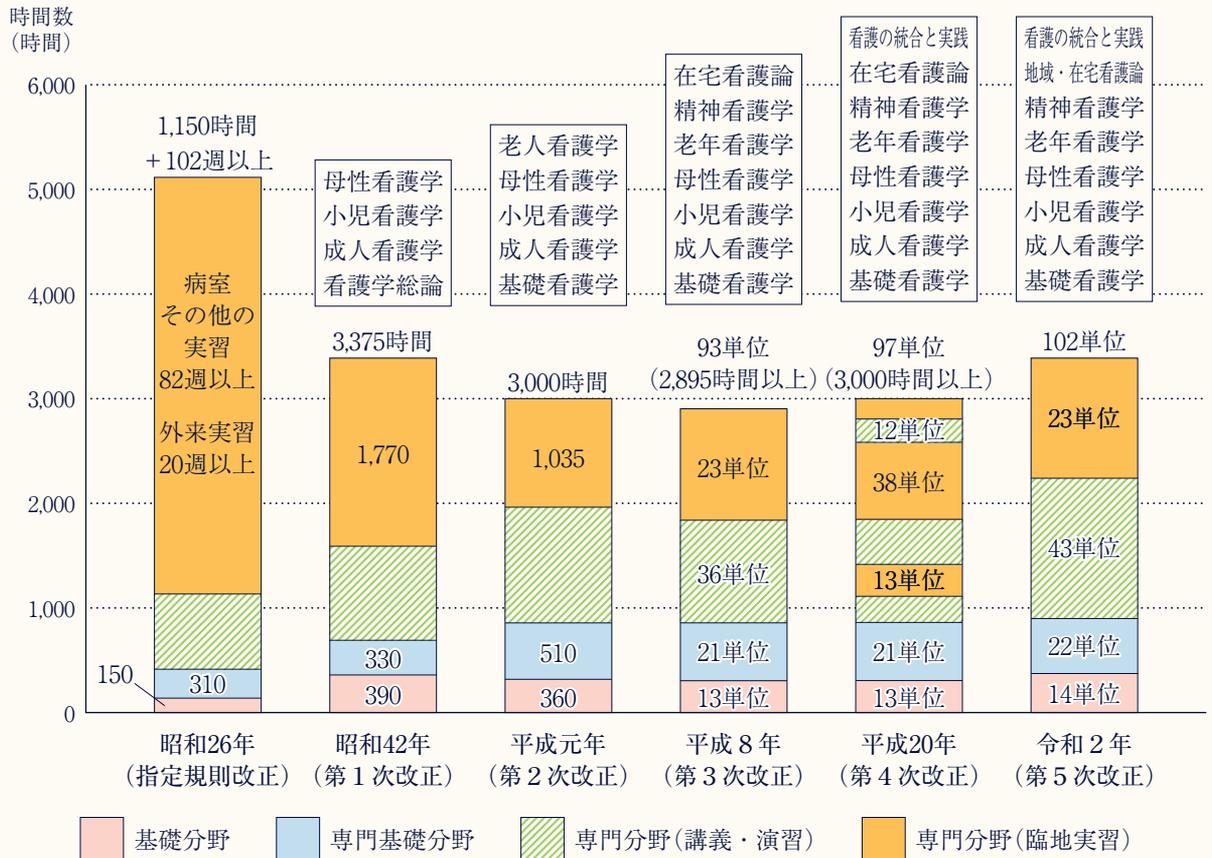


★現在の学校の様子★



今日から明日へ

【看護師3年課程 教育内容の変遷】



【Diploma Policy】

『心に寄り添い心を支える力』
をつけるために必要な力

自己
理解力



関係性
構築能力
(コミュニケーション
能力含む)

他者
理解力

問題解決
能力

アロマセラピー



ヨガセラピー



フィジカルアセスメントモデル



【専門基礎分野】

看護のための
臨床病態治療各論
(心と脳の病気)

心の健康
(臨床心理学)

心と身体のリラクゼーション

心を洞察するための認識論

【基礎分野】

心の科学

人間発達心理学

人間関係論

心の健康と家族社会学

倫理学

論理学

【専門分野】

心を支える看護概論

心を支える看護援助論

心を支える看護実習

各領域別看護概論

各領域別看護援助論

各領域別看護実習

編集後記

本校が昭和49年に信貴山高等看護学校として開校し、約半世紀が経ちました。現在までに1966名の卒業生が巣立ち、全国各地で活躍してくださっています。

今回、創立50周年の節目の年に記念誌の発行を企画し、準備を進めてまいりました。学校史を振り返るにあたり、初代学校長をはじめとする先輩教職員の皆様の献身的なご努力を痛感いたしました。

看護基礎教育は、時代の変遷とともに変更され、現2年生から第5次カリキュラムで運営しております。今年度4月には、第50期生の入学生を迎え入れました。しかし、全国的に18歳人口の減少や大学志向の追い風を受けて、専門学校への入学生の確保には苦戦している状況があり、本校も例外ではありません。

全国でご活躍されている卒業生の皆様には、どうぞ第50期生に続く後輩育成のためにも、一番の広告塔としてお力添えをお願い申し上げます。

最後になりましたが、編集にあたり、ご多忙の中、ご寄稿いただきました講師の先生方、卒業生の皆様に心より感謝申し上げます。

50周年記念誌が、皆様のお手元に届いた際に、母校を懐かしんで頂けたら幸いです。

発行 ハートランドしぎさん看護専門学校
〒636-0815 奈良県生駒郡三郷町勢野北4丁目13番1号
Tel. 0745-73-6600

印刷 共同精版印刷株式会社
〒630-8013 奈良県奈良市三条大路2丁目2-6
Tel. 0742-33-1221



ハートランドしぎさん看護専門学校
創立 50 周年記念誌